

プログラム例 中学1年生対象 <長期プログラム>

「自分の住むまちに、こんな〇〇ほしかってん！」 ～課題実践プログラム～

中学1年生対象

目標

子どもたちが地域の課題に対して取り組み、基礎的・汎用的能力を育むとともに、堺に愛着を持つことを目標とする。子どもたちが考える課題は地域により異なることが、①明確な課題であること、②子どもたちの生活圏にあること、③体験できるものであること、の3つの条件を満たす課題を設定し、その解決をめざすものである。

プログラム概要

- ①外部講師から地域の課題をテーマにしたミッションを受け取る。
- ②与えられたミッションの徹底分析を行い、個人で企画書を作る。
- ③グループをつくり、グループで話し合いながら企画を1つまとめる。
- ④グループで企画に注目した理由をアンケートやインターネットで調べる。
(体験の場合もあり)
- ⑤地域に向けて発表し、コメントをもらう。
- ⑥企画を練り直し、実践の準備を行う。
- ⑦実際に実践を行い、振り返る。

授業時間数

25～30 時間

外部講師 教育資源の活用

地域で働く人、地域住民 等
「子ども堺学ポータルサイト」掲載の教育資源一覧表 等

主な教科等 関連教科等

主となる教科等: 総合的学習
関連教科等: 国語、社会等

他の分野への応用

企画提案だけでなく、実践まで含めて行うことができるため、実行力や主体性を育むことができる。

「子ども堺学」 ポータルサイトの活用

[トップ](#) → [教員ページ](#)

<http://sd.sakai.ed.jp/>

学習の流れ

① ミッション発表

《授業の概要》

外部講師からミッションを受け取る。自分たちの身近なまちについて興味・関心を持つ。

② 徹底分析

個人企画

《授業の概要》

与えられたミッションを多様な角度から考えた後、企画の切り口を決める。
その切り口から自分の考えを企画として表現し、解決までの考える道筋を学ぶ。

③ グループ ワーク



《授業の概要》

グループで協力し、意見を出し合いながらグループで一つの企画をつくりあげていく。
ここがポイント 個人の意見をグループで一つにまとめていく。

④ 中間発表会



《授業の概要》

一度企画したものを発表し、お互いに相互評価を行うことによって足りない部分を把握する。

⑤ 実践準備



《授業の概要》

コメントから自分たちの企画を見直し、実践にむけて準備を行う。
ここがポイント 企画を実現するにはどうすればよいか、アドバイスを踏まえて考えを重ねる。

⑥ 実践



《授業の概要》

地域の課題解決を実践する。
プレゼンテーションの場合は、自分たちの成果をしっかりとプレゼンし、これまでの活動を振り返る。